

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 41号

2013/03/25 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：先週のレンジと大きく変化なし。引き続き上値は固い状況。

①週最高：LDN 市場£1,468 / NY 市場\$2,166（共に3月12日）先週比 **LDN+£3/NY+\$8**

②週最低：LDN 市場£1,414 / NY 市場\$2,088（共に3月18日）先週比 **LDN - £13/NY - 27**

週内差額（①-②）：LDN 市場£54 / NY 市場\$78

【3月18日（月）】両市場とも4日続落

両市場とも4営業日続落。

ニューヨーク市場のココア先物は、総じて軟調だった他の商品（コモディティ）相場になびいて下落。5月きりは27ドル（1.3%）安の**2088ドル**で引けた。ディーラーによると、市場は西アフリカのミッドクロップの見通しを注視している。

ロンドン市場の5月きりは13ポンド（0.9%）安の**1414ポンド**で終了した。

【3月19日（火）】両市場とも反発

ニューヨーク市場のココア先物は、5月きりが11ドル高の2099ドルで引けた。ロンドン市場の5月きりは、4ポンド（0.3%）高の1418ポンドで終了した。

【3月20日（水）】両市場とも続伸＝ポンド高が支援

英ポンドの対米ドル相場が堅調だったことが支援要因になり、ニューヨーク、ロンドン両市場とも続伸した。

ニューヨーク市場のココア先物は、5月きりが53ドル（2.5%）高の2152ドルで引けた。40日間移動平均の2150ドルを若干上回った。

ロンドン市場7月きりは、28ポンド（2%）高の1459ポンドで終了した。ディーラーらは、4～9月期の西アフリカ産ミッドクロップ収穫量が豊作になると予想。マレックス・スペクトロンの農業部門の共同責任者、ジョナサン・パークマン氏はそれを踏まえ、ロンドン市場の2番ぎりの相場が今後数カ月、1300～1500ポンドのレンジで推移するとの見方を示した。

【3月21日（木）】両市場とも3日続伸

両市場とも3日続伸した。

ニューヨーク市場の5月きりは14ドル（0.7%）高の**2166ドル**で終了した。一時は2186ドルまで上げていた。

シカゴのトレーダーによると、同市場のココアは、週初めに主要な下値支持線の2075ドルまで下落したが反発。最近の高値を試す展開となっている。この日も値下がりすると買いが入った。

ただ、西アフリカのミッドクロップが一部予想を上回る豊作のため、上昇余地は限定的だとみられている。ロンドン市場の7月きりは9ポンド（0.6%）高の**1468ポンド**で引けた。

【3月22日（金）】4日ぶり反落

ココア先物は、4日ぶりに反落。

ロンドン市場の7月きりは、8ポンド（0.5%）安の1460ポンドで引けた。

ニューヨーク市場の5月きりは、7ドル（0.3%）安の2159ドルで引けた。ディーラーらによると、上値抵抗線の2176ドルを試したものの、上抜けには失敗してきたという。この日の取引では、一時2185ドルまで値を上げたものの、引けではマイナス圏に沈んだ。ただ、週間では約3%の上昇。

2、コートジのカカオ豆集荷数量 998,000 トンに。3月17日時点までで (3/19)

世界最大のカカオ豆生産国であるコートジの港への集荷数量が10月のシーズン開始から3月17日までの合計で998,000トンに達したことが輸出業者の報告で明らかになった。昨シーズンの同期間の集荷数量は1,025,000トンであった。

輸出業者の情報によると、コートジの主要な二つの港であるアビジャン港とサンペドロ港に集荷されたカカオ豆は3月11日～3月17日間の1週間で19,000トンで、昨シーズンの同じ1週間の集荷数量の10,000トンより多い数字であった。

3、コートジのミッドクロップの状況は降雨の状況に地区差があり混沌 (3/19)

コートジの主要なカカオの産地でのカカオの生育状況は先週、いくつかの生産者が少ない降雨量が4月-9月までのミッドクロップのカカオの生育を害するのではないかと懸念する、一方で適切な降雨があった地域もあり、各地域ごとで様々な状況であった。

世界最大のカカオ生産国は非常に熱い気候で、酷く乾燥した時期を経験しており、2カ月間降雨がない状況が続いていた。

2月の下旬に、ようやく多くの生産地において降雨があったが、生産者によると4月1カ月を通じて恒常的に雨が降ることがミッドクロップの収穫数量を多くする為には極めて重要であると言っている。

同国の1/4の収穫量を占める中西地区 **Daloa** のカカオ生産者の話では雨は、長い日照りの間にとぎれとぎれで降っている状態で安定しないという。

Daloa にほど近い場所に農園を所有する生産者は『雨の状況には全く満足していない、雨が降る場合もいくつかの限られた場所でのみ降っていて、気温がとても熱い』

『4月はミッドクロップには非常に重要な時期で、もし4月中に適切な降雨がなければ、5月、6月に品

質の良くないカカオになるだけでなく、バイヤーが必要な数量も供給できないことになるだろう』彼は続ける。

沿岸部の **San Pedro** や **Sassandra** のカカオ生産者達は全く雨が降っていないと報告している。

『カカオの木に必要な物が全くない状態だ。雨が降っていない。カカオ農園に訪問するたびに私はがっかりしている』生産者の **Labbe** さんは言う。

『乾季が非常に厳しく、今年のミッドクロップはカカオの実りが少なくなるだろうから生産者は皆困っている』彼はつづけた。

先々週の 78mmの降雨量があり、先週は 50mm降雨量があった西部地区の **Soubre** のミッドクロップの見通しは他の地区よりも良い。

『3日間連続で雨が降っている。これはいいリズムでカカオの開化と結実を進める効果がある』と **Soubre** のカカオ生産者の **Salam Kone** は言う。

『私の農園のカカオの木の子育状態を見ると、おそらく4月の末からカカオが収穫でき、5月、6月に向けて数量が拡大するだろうと思う』

南東地区の **Aboisso** では生産者から先週は 60.3mm、先々週は 49.9mmの降雨があったと報告された。

『雨の状態は良いよ。カカオポッドも成長してきている。5月には良い品質のカカオ豆が収穫できると思う』**Aboisso** の生産者の **Yao** さんは言う。

西部地区の **Duekoue** でも同じような生育状態が報告された。生産者の報告によればそれまでの3週間と比べて、先週は十分な降雨があった。

東部地区の **Abengourou** では、先々週の 25mmから先週は 65mmの降雨量があった。

『カカオはよく育っている。4月にも程良く雨が降れば6月、7月のこの地域でのミッドクロップは豊作だろう』**Abengourou** の生産者の **Pascal** さんは言う。

*下記の地図に示されている都市の色と、上記の文章の都市の色がリンクしておりますので、コートジの位置関係を確認するのにご参照ください。



4、ブラジルメインクropp 着荷数量前年対比 21%増加(3/20)

5月1日から3月17日までのブラジル全体のカカオの港湾倉庫への着荷数量（輸入も含む）が昨年と同時期比較で17%上昇していることがバヒア商業組合の発表した統計で判明した。

ブラジルは2011/2012シーズンではカメルーンと並んで世界第5位のカカオ生産国であった。1990年代の前半には世界第2位のカカオ生産国であったが、国全体のカカオ農園が天狗巣病により大きなダメージを受け収穫数量が激減した。

現在、ブラジルは2012/2013シーズンのメインクroppの収穫中である。

ブラジルクカオの倉庫へのメインクroppの着荷ペースは緩やかになってきており、メインクroppの着荷は終わりに近づいている。

2月のカカオ加工製品の輸出数量はカカオ豆ベースで4,333トンで2012年の数量の4,387トンより若干減少した。

2012/13 着荷数量 期間 2012 年 5 月 1 日～3 月 17 日 単位 60-KG 袋

	先週	合計
バヒア州	23,778	2,906,280
その他の州	6,834	951,878
他国（輸入）	9,183	414,576
合計（袋）	39,795	4,272,734
合計（トン）	2,388	256,364

2011/12 着荷数量 期間 2012 年 5 月 1 日～3 月 17 日 単位 60-KG 袋

	週	合計
バイア州	16,841	2,103,451
その他の州	28,234	755,689
他国（輸入）	114,724	786,709
合計（袋）	159,799	3,645,849
合計（トン）	9,588	218,751

5、米 ICE、ソフトコモディティー取引時間の縮小検討へ

米インターコンチネンタル・エクスチェンジ（ICE）が、ソフトコモディティーの取引時間縮小を検討する方針であることが分かった。ICEフューチャーズUSのベン・ジャクソン最高執行責任者（COO）兼社長が22日、全米コーヒー協会（NCA）の会合で明らかにしたもので、市場の流動性を高めることが狙い。

ICEは、NYSEユーロネクスト<NYX>の買収を完了後、ロンドン国際金融先物取引所（LIFFE）とニューヨークのICE先物取引所に上場されている砂糖とコーヒー、カカオ豆の取引時間縮小を提案する計画。

ICEが米国での取引時間を変更するのは初めて。ニューヨークの取引所では、カカオ豆、アラビカ種コーヒー、粗糖の先物とオプションがほぼノンストップで取引され流動性が低下しているとして、トレーダーから不満の声が上がっていた。ICEは、NYSE買収の一環として、LIFFEで上場しているロブスタ種コーヒー、白糖、カカオ豆の先物取引とオプション取引を取得する。これらの取引は、ICEのソフトコモディティーの取引時間内に短時間で行われる

参考記事) TPPの関税撤廃、砂糖は「除外」＝対日協議の継続を強調—米通商代表代行

米通商代表部（USTR）のマランティス代表代行は20日記者会見し、環太平洋連携協定（TPP）交渉では、既存の二国間自由貿易協定（FTA）の内容見直しは原則として行わないとし、米国とオーストラリアのFTAで合意している関税撤廃の対象からの砂糖の除外扱いは維持されるとの考えを示した。

T P Pは関税の全面撤廃を原則としているが、交渉を主導している米国が一部の重要品目について、関税撤廃の除外があり得ると認めた形。ただ、日本は米国やオーストラリアなどT P P交渉に参加している農業大国とF T Aを締結していないため、日本がコメをはじめ重要5品目などの除外を獲得できるかは予断を許さない状況だ。マランティス代表代行は、日本のT P P交渉参加承認に向けた日米の事前協議については、「さらになすべき作業が残っている」と述べ、引き続き取り組んでいく考えを改めて示した。

***特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております！！こちらも何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。**

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

〈お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先〉

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp